豊かな自然環境のなかで、自然にふれ、食・農を体験し、学習で深めて生きた知にする！

自然性をとりもどし、生きるということの確かな感覚をよびもどす
滞在型の体験学習施設「信州・つがいけ食農学習センター」

昨年十月、北アルプスのふもとに開設された「信州・つがいけ食農学習センター」は、経験豊富なインストラクターの指導のもと食・農・環境の体験が自由にでき、整備された関連図書や食と農のデータベースでそれらの体験を深めていくことのできる「滞在型の体験学習施設」です。

豊富な体験メニュー
―「総合的な学習の時間」の準備にも最適―

「食農学習センター」には、食農体験やふるさと体験、自然体験、歴史探訪などを指導し案内するインストラクターが登録され、子どもから大学生、教師まで、あるいは自然志向・帰農志向の社会人の皆様やそのご家族の皆様に、それぞれのご希望にそっての体験学習ができるようになっています。

冬はスキー、夏はハイキングも楽しめる豊かな自然環境

体験のメニューをざっと例示すれば、郷土食のおやきづくりや、ソバ打ち体験、豆腐づくり、味噌の仕込み、醤油しぼり、山菜料理、ハーブ料理、燻製づくりなどの「食の体験」ができ、「農の体験」では、時期の限定はありますが、古代米の田植えや収穫、ソバ・大豆の種まきや収穫、ハーブやわさびの栽培体験等々ができます。また、わら細工やつる籠づくり、ログハウスづくりなどの「ふるさと体験」や、枝打ち・下刈り・間伐・きのこのコマ打ち・炭焼きなどの「林業体験」、星の観察や沢登りなどの「自然体験」、あるいはまた縄文時代からの塩の道の探訪などの「歴史探訪」も可能です。

インストラクターは、地域の自然を深く認識し、自然のなかで生活を組み立てているベテラン農家などが揃っています。

これらの体験をとおして、現代社会のなかで失われた人間の自然性をとりもどし、生きるということについての確かな感覚をよびもどすことができるでしょう。あるいは今年から小学校で完全実施される「総合的な学習の時間」での食農学習の準備にもピタリの内容だと思います。

充実した学習環境
書籍・ビデオ・パソコン・データベース

「食農学習センター」の特徴は、体験のメニューが豊富なだけではありません。日中に行なったこれらの体験を深める学習の条件が整備されていることが、当センターのもう一つの特徴です。

その一つが五〇〇〇点にもおよぶ自然や食農に関する書籍・ビデオ群です。ここには、食や農、環境のジャンルでは定評のある農文協の全書籍や、「NCLの会（自然と子どもたちを結ぶ会）」（＝子ども達や先生達に求められている図書資料をお届けする、学校巡回のための出版社グループ）の書籍が全部そろえられ、自由に手にとって読めるように整備されているのです（適切な本を見つけたら、その本を注文することも可能です）。

それだけでなく、本センターにはLANでむすばれたパソコン12台が整備され、農文協の膨大な「食・農・環境のデータベース」から自分の調べたい事柄について検索できるようになっています（そのコンテンツは、作物や家畜の栽培・飼育、加工、観察、実験、遊びのヒントが満載されたこれら成っています）。

データベースの特徴の一つは、検索性にすぐれており、オンデマンド特性があって、自分個人の求めるデータを瞬時に探し出し、自分の見識も加えて自分ならではの資料をつくれることです。このデータベースは、あなたの体験や問題意識を深めるとともに、すばらしい学習資料のまとめや教材開発に役立つでしょう。

「総合的な学習データベース」、農家の生活の技・食の知恵が満載された月刊『現代農業』一九八五年～二〇〇一年の約二〇〇冊、二五〇〇〇記事をデジタル化した「農家に学ぶデータベース」、全国五〇〇〇人のおばあちゃんから郷土食を聞き書きし、地域の自然と調和した生活術と生活文化を網羅した「ふるさと百科」、樹・花卉・畜産の百科事典全六編六三巻（記事件数九六〇〇、図表・写真データ約八万件）の「農業の百科事典データベース」などから成っています）。

講師を呼んでの滞在型グループ学習も可能

このように、日中の体験で心にとまったことをデータベースで検索し調べて、頭のなかで再構成してみる。あるいは的確な図書を選んで、読み深めて思いを

めぐらす。そして、学習の結果を資料にまとめることもできる――このような充実した体験と学習の一滞在型の体験学習施設」が「信州・つがいけ食農学習センター」です。

学習で疲れたら北アルプスのふもとの自然を満喫できる散策もできれば、センター内にあるグランドピアノを奏でて、みんなで合唱することもできます。

農文協は国の「食と農の応援団」事業の事務局をしており、豊富な講師陣を発掘しております。

前述のインストラクターの派遣はもとより、講師の斡旋も可能ですので、気軽にご相談ください。

【信州・つがいけ食農学習センター】長野県北安曇郡小谷村栂池高原。「施設の概要」や「お問い合わせ・申込先」については、記事下の「ご利用の案内」をご覧ください。

習や研修を行なう際には、

信州・つがいけ食農学習センターの概要・ご利用について

- 宿　泊　100名（本館別館計・和室15　洋室1）
- 会議室　80名
- 食　堂　100名
- 喫茶室　20名
- 談話室　20名
- 浴　室　男女各20名
- 宿泊料　一般　6，500円～（大人1泊2食）

季節等により異なります。（団体割引については別途ご相談下さい）

- 体験施設の利用やインストラクター料金は、人数その他により異なりますので、別途ご相談ください。
- キャンプファイヤー・バーベキューサイトあり
- 貸スキー・マウンテンバイク等、各種娯楽用具、スポーツ用具完備

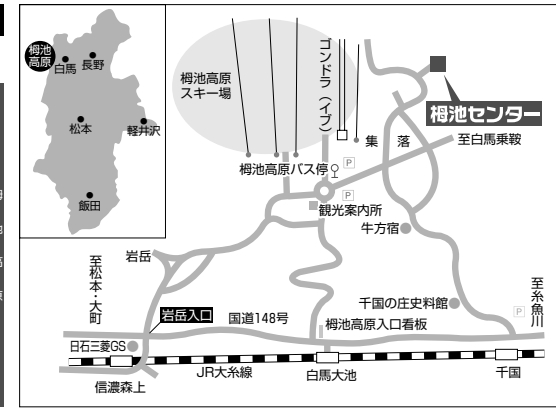
交通案内

●JRで

東京 —長野新幹線 1時間22分— 長野 —シャトルバス 50分— 栂池高原
新宿 —中央本線 特急2時間33分— 松本 —大糸線 1時間17分— 栂池高原
大阪 —東海道新幹線 1時間— 名古屋 —中央本線 特急2時間39分— 白馬大池 —バス・タクシー 15分— 栂池高原
大阪 —北陸本線 4時間25分— 糸魚川 —大糸線 1時間12分— 栂池高原

●バス・お車で

東京 —中央自動車道 186km— 両谷J.C.T —長野自動車道 33km— 豊科I.C —R147・148 64km— 栂池高原
東京 —シャトルバス 50分— 栂池高原
大阪 —名神高速 188km— 名古屋 —中央自動車道 173km— 栂池高原
大阪 —名神・北陸道 416km— 糸魚川I.C. —R148 41km— 栂池高原



〈ご利用のお問い合わせ・申込みは〉
農文協文化部　TEL03（3585）1149　FAX03（3585）6466　chiba-t@mail.ruralnet.or.jp